

菅義偉 内閣総理大臣  
梶山弘志 経済産業大臣  
小泉進次郎 環境大臣  
河野太郎 行政改革担当大臣

総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会 白石隆 分科会長・委員各位  
中央環境審議会地球環境部会 三村信男 部会長・委員各位

## 化石燃料も原発も使わない、持続可能な再エネ100%の

### 気候・エネルギー政策を求めます

気候危機はすでに現実化しています。国際条約「パリ協定」では、世界の平均気温上昇を産業革命前に比べて1.5°Cに抑える目標が定められています。科学者たちは、1.5°C以上の場合、気候災害がさらに深刻化し、悲劇的な生態系の崩壊が起こると警告しています。

政府は現在、「エネルギー基本計画」と「地球温暖化対策計画」を見直しています。菅首相は、2050年までに温室効果ガスを実質排出ゼロにすると宣言しましたが、そのための具体策となる2つの計画は、1.5°C目標に沿うように再エネ100%とする必要があります。

また、2021年には東京電力福島第一原発事故から10年を迎えますが、事故の被害はいまだに続いています。核廃棄物の最終処分についても全く見通しが立っていません。原発や不確実な技術に頼らず、先進国の責任として脱炭素社会に向けて経済・産業構造や暮らしを抜本的に変えることが必要です。

これからの世代に希望ある社会を残すために、私たちは、以下を要望します。

#### 要望事項

1. 気候・エネルギー政策の見直しは、若い世代を参加させ民主的で透明なプロセスで行うこと。
2. 2030年までの温室効果ガス排出削減目標は、2010年比で少なくとも50%以上削減とすること。
3. 2030年の電源構成は、省エネを第一に石炭火力と原発はゼロ、再エネ50%以上とすること。
4. 原子力の利用をやめ、新增設や新型炉の開発は中止すること。
5. 不確実で環境・社会影響が懸念される二酸化炭素回収・貯留などには頼らないこと。

氏名	郵便番号	住所（都道府県から）

「あと4年、未来を守れるのは今」キャンペーン 呼びかけ団体：350.org Japan、CAN-Japan、eシフト、Fridays For Future Fukuoka、Fridays For Future Kagoshima、Fridays For Future Kyoto、Fridays For Future Nasu、Fridays For Future Osaka、Fridays For Future Shizuoka、Fridays For Future Yokosuka、Green TEA、Protect Our Winters Japan、PV-Net、Spiral Club、環境エネルギー政策研究所、気候ネットワーク、グリーン連合、原子力資料情報室、原水禁、国際環境 NGO FoE Japan、国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン、市民電力連絡会

（数字、アルファベット、50音順、12月10日時点）

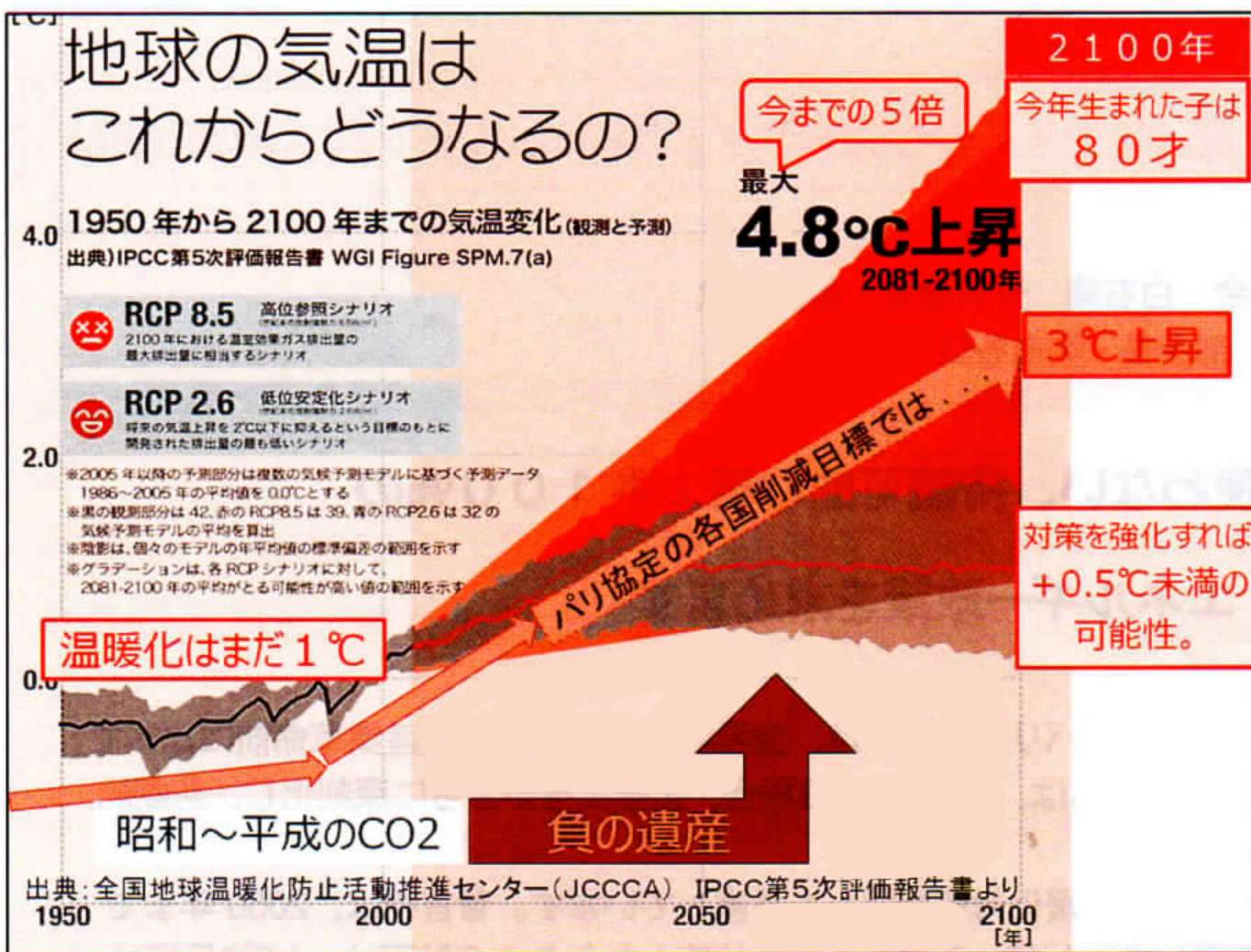
署名締め切り：第一次集約：2021年1月31日、第二次集約：3月15日（予定）

送付先：右記2次元バーコードから署名入力サイトへ / または用紙をFAX：03-5805-3588

郵送の場合 〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-10 湯島ビル602

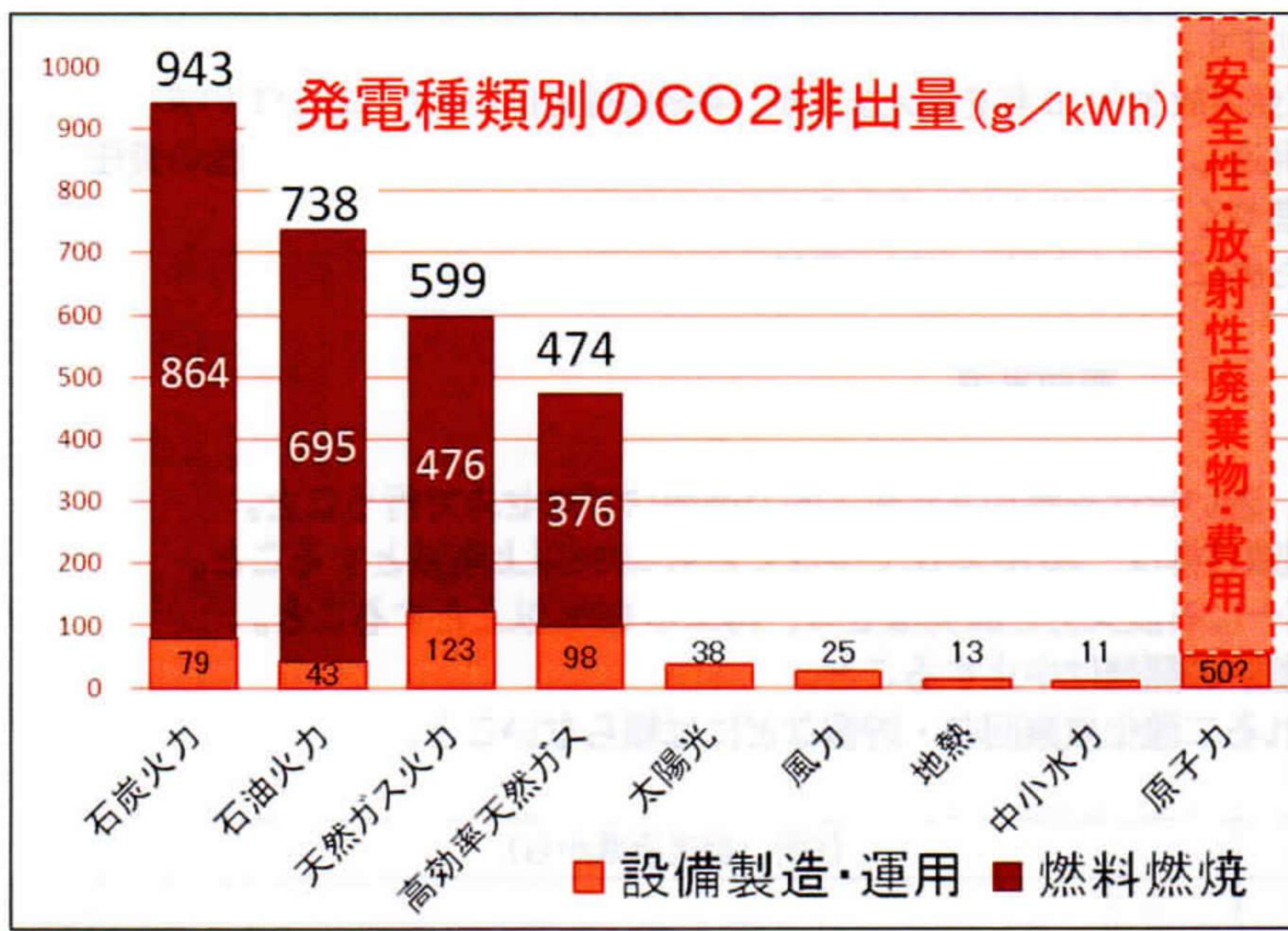
（取り扱い団体）PV-Net（認定NPO法人太陽光発電所ネットワーク）



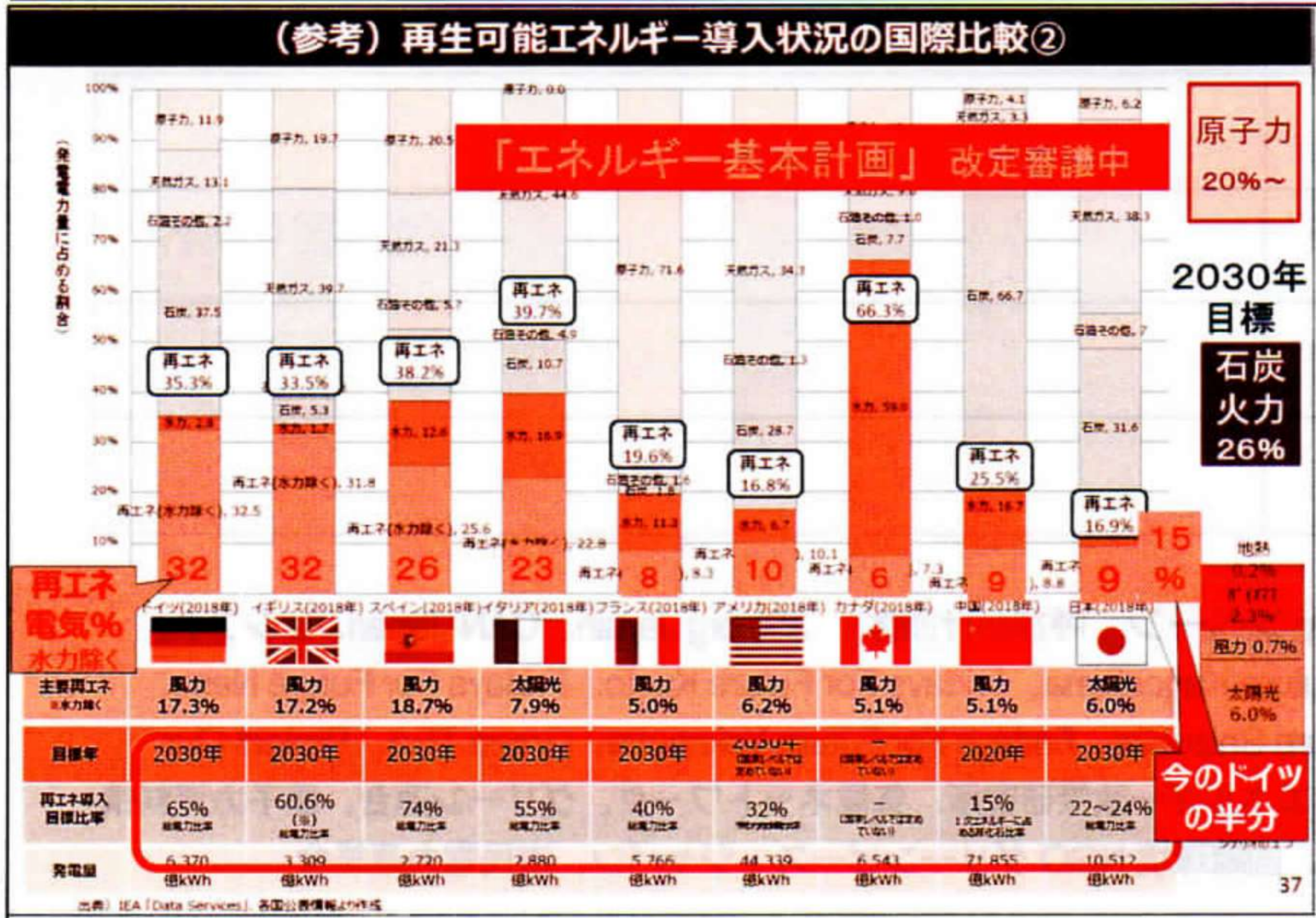


● 温暖化は、まだ1℃  
猛暑や異常気象による大災害が増えてきましたが、石炭を燃やし始めた産業革命前から250年間の気温上昇はまだ+1℃程度です。

● あと3℃上がる可能性  
世界各国の今のCO2削減目標では、2100年までにあと3℃前後、気温が上がると予測されています。2015年「パリ協定」では、「1.5℃未満」に留めるための削減努力が合意されています。



● 石炭火力 → 再エネ  
電力全体のCO2 50%減  
石炭火力発電のCO2排出量は天然ガス火力発電の約2倍。発電量で3割の石炭火力がCO2排出では50%を占めています。自然エネルギー発電に転換するだけで電力由来CO2はナント半減。多くの先進国では既に石炭火力廃止期限を決定済み。日本はまだ、新たに建設する計画や輸出支援が...



● 自然エネルギー100%へ  
自然エネルギー100%は日本でも可能です。風力発電だけでも日本の消費電力量の4倍もの潜在発電可能量があるとされています(環境省)。自然エネルギー事業への投資は経済にも貢献。今、投資をためらうと、投資必要額の何倍も、温暖化の被害が将来起きると言われています。日本の2030年目標は、今のドイツの半分。大胆な政策転換が必須です。

